

# 議会 だより



令和4年7月15日

いいだ市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.229

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534

80  
古紙配合率80%紙



## 出張科学実験教室(松尾)

～ モデルロケットに思いを込めて～

第2回定例会開催……………②

ズバリ市政を問う(一般質問)…④～⑥

「地方議会評価モデル」の取り組み…⑦

令和4年

# 第2回 定例会

5月24日  
～  
6月17日  
開催

定例会のあらまし

第2回定例会の開会日に、執行機関側から報告案件21件、人事案件3件、「飯田市税条例等の一部を改正する条例の制定について」など条例案件6件、「工事請負契約の締結について」など一般案件3件、「令和4年度飯田市一般会計補正予算（第2号）案」に係る予算案件1件の計34件の議案の上程がありました。

中日の6月7日には、報告案件1件、「令和4年度一般会計補正予算（第3号）案」に係る予算案件1件の計2件の議案の上程があり、閉会日には、「飯田市特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」の1件の議案の上程がありました。

専決に係る報告案件及び人事案件については、上程日の採決により承認・同意しました。その他の案件については、常任委員会による審査を経て、最終日に全て可決しました。

議案に対する質疑と審査

報告案件、人事案件以外の議案が総務、社会文教、産業建設の各常任委員会に付託され、集中的に審査しました。

質疑等の内容は、8ページから各常任委員会のページで紹介します。

## 令和4年度一般会計補正予算（第3号） 主な内訳

事業費 9億3,702万2千円

プレミアム付き電子商品券事業  
4億5,858万3千円

飯田商工会議所との協働による、  
年末にプレミアム付き商品券の販売

公共交通事業者燃料価格高騰対策支援事業  
2,716万円

利用者に負担を求めることなく、安定的に運航する  
必要から、バス・乗り合いタクシー事業者に対して  
車両用燃料の価格高騰分を補助

社会福祉施設等原油価格等物価高騰対応対策事業  
1億101万3千円

燃料費、電気料金、ガス料金等の価格高騰分の一部  
を補助し、社会福祉事業者の運営継続を支援

果樹・野菜等振興事業  
5,015万7千円

あきひ 秋肥価格の大幅な値上がり<sup>あきひ</sup>を想定した秋肥購入  
費の一部補助

保育所等の副食費や学校給食における食材費補助ほか  
3億10万9千円

食材費高騰に対する支援補助金など



## 令和4年度一般会計補正予算（第2号） 主な内訳

事業費 2億7,370万1千円

子育て世帯生活支援特別給付金事業  
1億1,375万2千円

食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て  
世帯への支援

感染症感染拡大予防対策事業  
5,940万7千円

抗原定性検査簡易キットの購入  
(9月末まで分として75,000個)

にぎわい創出店舗活用事業  
589万7千円

橋南第一地区市街地再開発ビル1階の空きテナ  
ントへ入居する事業者への支援

千代診療所運営費  
377万1千円

再開した千代診療所の医療機器等の経費

教育支援基金奨学給付金ほか  
9,087万4千円

保護者の所得が少ない奨学生を対象とした返  
済金不要の奨学金を上乗せ給付する費用など

**契約に係る議会未提出案件及び職員の不適切な事務処理等に関する申入書を市長へ提出**

「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」に基づき、予定価格が1億5千万円以上の工事又は製造の請負契約について議会の議決が必要になります。

令和元年7月に契約を締結した工事案件について、令和2年3月に契約の変更が生じ、変更後の契約額が、1億5千万円を超えたため、議会の議決が必要な案件となりましたが、議決を経ることなく変更契約を締結していたことが、このたび判明しました。



また、「市職員の扶助費支払い遅延及び私費による立替」や「児童手当及び子育て世帯への臨時特別給付金の振込口座誤り並びに支給遅延」の不適切な事務処理が続いたことから、飯田市議会は、以下の申し入れを市長に行いました。

**1 契約に係る議会未提出案件について**

・徹底した原因分析のために、民間会社で行われている「なぜなぜ分析」などの手法を用いて、真の原因を究明されたい。

・今後の再発防止策として示された「組織的なチェック体制の改善」を実行した後、妥当性を立証するため、効果の確認を行われたい。

・原因を究明した上で該当する対象部署へ、地方自治法を中心とした実践的な研修を実施するとともに、全職員に対しても、eラーニング等を活用するなど継続した研修を実施されたい。

などを含む5項目について、実施した経過及び結果を令和4年12月末を目途に議会へ報告することを申し入れました。

**2 職員の不適切な事務処理等について**

・市民への手当や給付金等に係る不祥事が続いたことから、徹底した原因の究明を確実に実行し、職員の業務分担等については、必要に応じて複数担当制とするなど、職員間で相互にチェックし協力できる体制を早期に確立すること。

などを含む3項目について、申し入れました。

**令和4年度の議会報告・意見交換会を開催します**

日頃の議会活動について市民の皆さんへ議員が直接説明するとともに、意見や要望をお聞きして市民の皆さんの声を政策づくりに反映することを目的として、各地区まちづくり委員会との共催により議会報告・意見交換会を開催します。

\*新型コロナウイルス感染症の状況により、会場などの変更が生じる場合があります。

ブロック	地 区	開催日	会場案
遠 山	上村 南信濃	9/28(水)	上村コミュニティセンター
中 部	松尾 鼎	9/29(木)	鼎公民館
西 部	山本 伊賀良	9/30(金)	伊賀良公民館
北 部	座光寺 上郷	10/4(火)	上郷公民館
南 部	竜丘 川路 三穂	10/5(水)	竜丘公民館
竜 東	下久堅 上久堅 千代 龍江	10/6(木)	下久堅公民館
飯田5地区	橋北 橋南 羽場 丸山 東野	10/7(金)	飯田市役所

## 新しい時代のリニアについて

小平 彰 議員 (新政いいだ)



**Q** アンケート調査項目「計画や進捗状況の情報量」に対する認知度は。

**A** 情報量が足りているとの回答が全体の約16%に留まっているという厳しい結果は、情報提供不足と認識する。調査結果では、リニア本線及び関連事業の進捗状況を知りたいという意見が多く、これを踏まえ、3月にテレビ広報で放映するとともに、4月からはYouTubeで発信している。適時的確な内容と多彩な方法での情報発信に努め、リニアに対する気運の醸成を図っていく。

# ズバリ 市政を問う!

第2回定例会の一般質問の概要を紹介します。(14人・質問順)

■は、そのほかの質問項目

一般質問の様子はYouTubeで動画配信しています

## 地域経済に影響を及ぼす「地域通貨」導入の動きは

山崎 昌伸 議員 (新政いいだ)



**Q** 単に地域経済の活性化だけを目的としない「地域通貨」の導入が各地で見られるが、どう取り組む考えか。

**A** 昨年度から、地域通貨の課題や先進事例の研究を進めており、地域内で定着し、使われ、持続させるにはどのような仕組みがよいか検討している。ボランティアポイントや健康ポイントのような地域の独自性を組み込み、地域内経済循環を推進する仕組みが構築できないか研究している。■市民が誇りをもてる環境文化都市の実現に向けて

## リニア駅前空間整備に向けた市民意見募集の考え方は

岡田 倫英 議員 (会派きぼう)



**Q** コロナ禍のため大規模説明会を開けないのは理解するが、その分柔軟に対応して募集期間を長くしては。

**A** 市民の皆さんの関心を高め、リニアに対する気運を醸成していくために、ご意見への門戸を閉ざさず、積極的にご意見を伺う姿勢をとっていく。今回の説明で終わりではなく、今後の事業実施に向けて、土木の工事や建築の設計、工事、更には魅力発信施設などの検討、設計、工事とさまざまな段階を経ていく中で、説明を尽くしていきたい。

## 竜東地区の観光振興について

橋爪 重人 議員 (新政いいだ)



**Q** 三遠南信自動車道の竜東側インターを利用した観光名所の整備とPRについて。

**A** 各地区にある観光資源に改めて光を当てていく取り組みが必要である。景観の良さを生かした竜東サイクリングロードを形成し、サイクルツーリズムを通じた観光誘客や、立木や下草などの環境整備をした上での神之峰等の活用が考えられる。いずれにしても、地元地区の皆さんや関係機関と協議をしながら、観光資源の活用や情報発信をしていきたい。

## 子どもや若者への平和教育として平和祈念館をどう活用するか

古川 仁 議員 (日本共産党)



**Q** 反戦・平和の思いをどう伝えるか。また、展示品を守るため常時スタッフを配置する考えは。

**A** 展示については、公設の施設としての性格を踏まえて、多様な視点を基に内容を検討して展示している。事前に飯田市公民館に予約をいただければ展示説明の対応をさせていただく。オープンして間もない状況であり、十分でない点もあるが、ご覧になった方々の意見も参考にしながら改善・工夫をしていきたい。■子どもの医療受診について

## 飯田市立動物園をまちづくりに どう生かすか

関島百合 議員(会派みらい)



**A** 課題として認識している。動物園への来園者のその後の行動、ニーズなどの調査は行っていないが、中心市街地への周遊促進につながるかの検証も含め、3月下旬から市営駐車場の2時間無料の試行に取り組んでいるところ。市街地全体の滞在時間が長くなることにどうつながるのかを見ながら、さまざまな工夫を重ねていく必要がある。

**Q** 飯田市立動物園を訪れる年間13万人の来園者は、中心市街地に流れていない。現状をどうとらえるか。

## リニアで活かす「まちづくり」は

筒井誠逸 議員(新政いいだ)



**A** リニアを活用する施策はあるか。都市との行き来が容易にできるようになることで、テレワークやリモートオフィスといった新しい働き方、二地域居住やリニア通勤といった新しいライフスタイルが描けるようになる。この流れを創るための環境整備をしていくことが、当地域の人口の維持、学生のUターンの推進、子育て世代を中心とした移住定住の促進につながると考える。

## 消防団の団員確保に向け 飯田市の果たす役割は

下平恒男 議員(新政いいだ)



**A** 準中型運転免許に要した費用の補助事業は周知していく。昨年度、消防団員のご家族に、消防団応援ショップの希望アンケートを行った。今後、希望の多い店舗に働きかけ、応援ショップの拡大を図っていく。消防団の活動が地域で評価されるような広報に努め、消防団の重要性をご理解いただき、団員確保に当たっていただけるよう取り組んでいきたい。

**Q** 消防団員の減少は全国的な傾向。団員確保を分団任せとせず、市としてもっとPRするべきでは。

## コロナ禍における市民、 事業所の現状と飯田市の支援

福澤克憲 議員(会派きぼう)



**A** 地域公共交通は、市民生活、経済活動の基盤である。原油価格の急騰が交通事業者の経営状況を悪化させているが、この影響を利用者に経済的負担として求めることなく、公共交通を維持し、安定的に運行していく環境整備が急務である。国や県の動向も注視しながら、市として、交通事業者の燃料費に対する支援が必要と考える。

**Q** 運輸・交通分野の事業所の現状は大変厳しいと認識。地域公共交通を維持・確保するための取り組みは。

## 介護予防事業について

西森六三 議員(会派きぼう)



**A** 事業者委託による一般介護予防教室、NPO法人等への委託・住民主体で運営する介護予防サービスマスター(通所型サービスマスター)が各地区で展開されている。高齢化の状況や地理的条件等、地域の状況はさまざまであるため、画一的なスタイルよりも地域の実情に合わせた柔軟な事業展開が必要と考える。■飯田市福祉福祉協議会との関わりについて

**Q** 「介護予防・日常生活支援総合事業」のなかで、まだ介護保険を利用していない方々への事業展開は。

## コロナ禍からの出口を どう見るか

宮脇邦彦 議員(公明党)



**A** コロナによる学級閉鎖、不登校等により登校できない状況でも、ICTを活用し、学習の継続・つながりを感じられる取り組みを進める。新型コロナウイルス感染拡大を理由に中止・延期してきた祭りやイベント等の市民活動や社会活動を、さまざまな感染対策を講じた上で、再開していくことが重要である。■ヤングケアラー対策について

**Q** 全世代へのワクチン普及で社会活動復活を図り、子どもたちの声を聞く力と文化の力を出口戦略としては。

## 国土強靱化への考えと取り組み、 土地利用の考えは

新井 信一郎 議員(会派きぼう)



**A** 公共事業でのトンネル発生土の活用は重要な視点である。発生土活用先の調整窓口である県と連携を図る中で、地域振興と整合する着想をもって、発生土を有効に活用できる方策を検討していく。広大な面的整備には、地域のご意見を踏まえ、よく議論した上で、地域ひいては市全体の資産価値向上につながるように土地利用計画を考えていきたい。

**Q** リニア工事発生土を活用し、広大な平面整備を行い、地域の資産価値向上につなげられないか。

## 行政手続きの簡素化「書かない窓口 申請システムの導入」とは

永井 一英 議員(公明党)



**A** 当市は大分県別府市のように死亡後の手続きに特化した専用窓口はないが、必要な手続き内容、問い合わせ先、窓口番号が記載された手続き一覧を渡し、各窓口へ案内をしている。今後システム開発業者や関係課と協議をして、「書かない窓口申請システム」を導入すれば、関係課との情報共有ができて、遺族等の死亡手続きの負担軽減が図られると考える。

**Q** 検討対象の文書の範囲は、別府市の取り組みのように、複数の部にまたがる申請手続きの連携まで広げるか。

## 請願・陳情に関して

### 【提出時期】

・請願や陳情はいつでも受け付けていますが、直近の定例会で審査を希望される場合は、告示日の5日前(市の休日を除く)の午後5時までに議会事務局へ提出してください。

### 【受付時間】

・飯田市の休日(土曜日・日曜日・休日及び年末年始)を除く午前8時30分から午後5時まで。

\* 請願者または陳情者が、趣旨の説明を希望される場合は、定例会初日での委員会付託を経て、所管の委員会において参考人として招致を行うか否が決定されます。

## いじめにおける教育長の 認識について

小林 真一 議員(公明党)



**A** 「いじめはいじめた側が100%悪い」との共通認識である。される側にも原因があるという考え方はあってはならない。また、いじめの動機や背景の事実確認をした上で、いじめた側への心のケアも大切であり、スクールカウンセラー等の相談機関や医療機関とも連携し、自己理解を深め、他者の痛みを理解できるように継続した支援・指導を行っていく。

**Q** 「いじめはいじめた側が100%悪い」この点を確認し大前提とした上で、いじめた側のケアの現状は。

## 予算決算委員会

## 「議会による行政評価」に取り組みます

「議会による行政評価」は、基本構想基本計画「いいだ未来デザイン2028」の進行管理に関与することで議会として地域経営に対する責任を果たすために、毎年実施しています。

主に評価の対象となるのは、2021年度の基本目標ごとの基本計画・戦略計画・事務事業です。

### ステップ別の日程

ステップ1	執行機関からの説明①	7月20日(水)~22日(金)
ステップ2	戦略計画に対する個々の議員による評価	~7月29日(金)
ステップ3	分科会による意見集約、執行機関からの説明②	8月2日(火)~3日(水)
ステップ4	事務事業評価	各分科会で日程調整
ステップ5	分科会での検討経過協議・確認	8月30日(火)
ステップ6	評価提言内容の取りまとめと執行機関との意見交換	9月5日(月)~15日(木)
ステップ7	提言内容の調整と全体会での確認	9月30日(金)を期限
ステップ8	議会による提言	ステップ7以降 日程調整

## 「地方議会評価モデル」の取り組みがはじまりました

令和4年2月に導入を決定した「地方議会評価モデル」の取り組みが、4月から本格的にスタートしました。

計画では、「議会プロフィール」を10月を目途に作成し、その後、来年3月までに「成熟度評価」を行い、「議会プロフィール」と「成熟度評価」に基づく「議会改革・運営ビジョン」の見直しと、ロードマップの作成・公表を来年の3月又は4月に行う予定です。

現在作成中の「議会プロフィール」は、次の項目を、会派の枠を超えて、全議員が一丸となって検討しています。

- ① 議会に期待される役割（ミッション）
- ② 議会が実現すべき理想的な姿（ビジョン）
- ③ 現在の飯田市議会の姿
- ④ 2028年までを見据えた議会を取り巻く社会環境の変化
- ⑤ 「理想的な姿（ビジョン）」を実現する上での課題
- ⑥ 通任期（2028年まで）の活動目標・アクション

飯田市議会の「議会プロフィール」の作成手順は、はじめに23人の全議員がそれぞれ「議会プロフィール」を作成。それらを3つに分けたグループ内で討議を重ね、グループとしてのプロフィールにまとめます。各グループのプロフィールについては、リーダー・サブリーダー会議や実行組織の「地方議会評価モデル運営プロジェクト」で共有・すり合わせ

を行いながら、飯田市議会のプロフィールとして最終的には一つにまとめる予定です。グループ内外との調整役となるリーダー・サブリーダーは、1期目・2期目の議員が務めています。

### \* 地方議会評価モデル

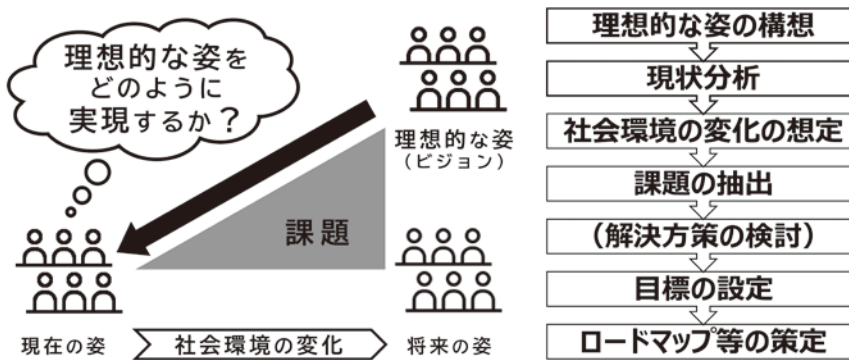
「自己評価から理想的な議会を考える」取り組み

\* 議会プロフィール  
「現状分析と課題を考える」取り組み

## 地方議会評価モデルのツール

### 「議会プロフィール」を作成し、「自らの議会がどのような議会か」共通認識を得る

▶ 「理想的な姿」(ビジョン)から逆算して、今後の行動(アクション)を考える



## 飯田市議会業務継続計画(議会BCP)を策定しました

大規模災害などの非常事態においても、多様な市民ニーズに対応できる議会機能の維持を図るため、これまで別々に策定されていた「飯田市議会災害等対応指針」、「飯田市議会災害時等行動マニュアル」及び「飯田市議会新型コロナウイルス感染症対応計画」を統合し、新たに、必要となる事項等を追記した「飯田市議会業務継続計画(議会BCP)」を5月に策定しました。

### 議会BCPの主な特徴

- 想定する災害を、「地震・風水害等」と「新型コロナウイルス感染症」の2つに分類
- 「議会の行動指針」として、定足数に足る有効な議決ができる体制の整備(オンライン会議など)
- 「議員の行動指針」として、議会の機能を維持するとともに、災害発生時には地域の一員として地域活動を果たすことも明記
- 新型コロナウイルス感染症については、感染警戒レベルに応じた「具体的な行動内容」を提示
- 「議会事務局の役割」を明記

今後は、防災訓練を通じて得た課題を議会BCPに反映し、実効性の高い計画にしていきたいです。

\* 事業継続計画(BCP)とは、災害などが発生したときに、被害などを最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画

# 総務委員会

6月8日に  
委員会等を開催



委員会の様子は  
YouTubeを  
ご覧ください

飯田市特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
(議案第53号)

健康福祉部の度重なる不適正な事務処理事案の発生を重く受け止め、市長の給料月額を減額(減給1/10、1月)したいとする条例改正を審査しました。

**Q** 職員に対する処分に対して市長に対する処分が軽いという意見を市民から聞く。市長の減給の判断は適切か。

**A** 職員の処分については、懲戒処分審査委員会が審査し、処分案を市長が見て決定する。市長に対しては、懲戒処分審査委員会の対象外であり、市長の判断にゆだねるほかない。

**Q** 公金を預かる立場として、お金の管理をしっかりとさせていただくことが重要で、間違いがないようにしていただきたいが、どう考えるか。

**A** 出納閉鎖後に判明した事案であるため、令和3年度の処理ではなく令和4年度の処理とした。報告、対応が遅れたことは全庁的な問題として対処したい。

飯田市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
(議案第43号)

マイナンバーカードを利用してコンビニエンスストア等において印鑑登録証明書を交付できるようにする条例の一部改正を審査しました。

**Q** 条例改正に関連し、市民のマイナンバーカード交付率を上げる必要があると考えるが、対応は。

**A** 当市の6月1日付け人口に対するマイナンバーカードの交付率は、35・19%で、国県に比べて低い状況にある。

交付率が低い要因の一つには、申請手続きが面倒と感じる市民が多いことが上げられるため、現在、出張申請に取り組んでいる。全20地区対象に、24回実施する。

各地区での出張申請が終わった段階で、手上げ方式ではあるが企業・団体等へも出向いて申請受付を行う予定。

出張申請では、申請者のサポートを行うことで手間も少なく、交付時に本庁に出向く必要がないというメリットがあるため、促進効果があると考えている。



《予算決算委員会 総務分科会》

議案第52号 予算審査

職員体制について

**Q** コロナ禍の緊急対策に関しては、扶助費の支払い遅延等が発生した。この要因に人員の配置等に課題があったと認識している。今回の補正においても会計年度任用職員の人件費が計上されているが、人員確保も含め組織マネジメント上適切な対応が必要と思うが、どうか。

**A** 人事面では、定員適正化計画により職員数を削減してきた状況がある一方で、地方分権による地方公共団体の業務量の増加、さらには、コロナ禍における各種給付金事務が重なったことが起因している。それを、会計年度任用職員で補うことは難しい面があると認識している。

正規職員を即座に採用することは難しいため、10月1日付けの社会人枠の職員採用に取り組み、その間、会計年度任用職員での対応を想定している。

採用後は、正規職員で対応する予定。今回計画した事業は、市民の皆さんに緊急的な支援として届くよう、事業は着実に推進していく。



# 社会文教委員会

6月9日に  
委員会等を開催



委員会の様子は  
YouTubeを  
ご覧ください

飯田市病院等料金条例の一部を改正する  
条例の制定について（議案第46号）

病棟の改修が終了したことに伴い入院差額料を、また、法令の改正に伴い特別初診料と特別再診料を変更するため、飯田市病院等料金条例を改正する議案を審査しました。

**Q** 入院差額料の設定について、他の医療機関の状況を参考にしたことだが、飯田下伊那の医療機関を参考にしたのか。比較した医療機関の状況は。

**A** 飯田下伊那をはじめ、県内同規模の公立病院を含めて検討した。調査した医療機関それぞれ料金に違いがある中で、比較的低めの料金に設定した。

**Q** 改定する特別初診料の周知をどのように考えているか。

**A** かかりつけ医からの紹介が必要であることをPRしていく必要がある。より丁寧な説明をしていく。

**Q** 国の方針により特別初診料の徴収すべき金額の下限が7,000円に引き上げられたとのことだが、7,700円とした理由は。

**A** 国の新たな方針では、患者負担が2,000円引き上げとなり、病院の診療報酬は200点差し引かれることから、内税にすると消費税分が病院からの持ち出しになってしまったため、他の医療機関を参考に消費税を含めて7,700円とした。



リニューアルされた病室

### \*特別初診料とは

他の医療機関からの紹介状なしで市立病院の初診の診療を受けた場合に負担する料金

### \*特別再診料とは

市立病院からの逆紹介により他の医療機関を受診することになったものの、市立病院での診療を受けた場合に係る料金

## 《予算決算委員会 社会文教分科会》

議案第52号 予算審査

### 千代診療所の再開について

**Q** 院外処方による、これまでの患者等への影響をどう考えるか。

**A** 処方箋を薬局に持っていく、薬をもらうことになるが、薬局のなかには自宅へ配送するところがある。個人と薬局との契約となるため、希望があれば薬局を紹介している。



**Q** 配送にかかる費用は。

**A** 薬局により無料と有料がある。有料は現在1カ所あり、一定の金額と交通費が上乗せとなる。

### 情報通信技術活用教育推進事業について

**Q** パソコンの保守として900万円余は大きい額だが、どのような保守か。

**A** サーバーやネットワーク、職員用や学習者用のパソコンの保守である。内容によるが、1月ごとや1台ごとに係る費用で積算され、1年間28校分の委託契約の額である。



# 産業建設委員会

5月24日及び  
6月10日に  
委員会等を開催



委員会の様子は  
YouTubeを  
ご覧ください

和解をすることに関して

(かぐらの湯湯湯ポンプ落下事故について)  
(議案第49号)

令和元年度に発生した、かぐらの湯湯湯ポンプ落下事故後の対応と紛争審査会の経過等の確認を含め、和解をすることに関しての議案を審査しました。

**Q** 和解に応じないとした場合の検討は行ったか。

**A** 代理人弁護士とも幾度となく検討した。今回の和解に応じなければ、継続審査となる。相手側の経営状況等を把握する中で、今回示された金額が和解に至る最大限の金額と判断した。

**Q** 和解した後、次の段階をどう考えるか。

**A** 地域としては、かぐらの湯は大切なものであり、何とかしたいとの思いが強い。昨年、全国道の駅支援機構に業務委託した「道の駅遠山郷の運営改善計画」には、集客に温泉は必要であるが、温泉だけでは経営が難しいこと。また、食堂、土産物、さらには遠山郷を生かしたアクティビティ

を複合的に整備する必要性が示された。地域では、新しい経営体の立ち上げの検討も始まっており、道の駅の運営をどうするか、温泉をどうするのか地域と一緒に進めていく。

「工事請負契約の締結に関して

(令和元年度社会資本整備総合交付金事業道路改良工事)」  
(議案第48号)

工事請負契約の締結に関し、議会の議決が必要な案件であったにも関わらず、議決が漏れていたことが発覚しました。議決権を有する議会にとっては由々しき問題であり、議長から市長に対して再発防止を求める申入書を提出する方針が5月17日の議会運営委員会にて確認されました。

申入書については、所管する当委員会の審査を踏まえ、議会運営委員会の正副委員長に一任されました。そのため、当委員会では、「工事請負契約の締結に関する点」と「議決漏れの再発防止策の策定」の2つの視点に分けて質疑を行いました。

質疑が深まったところで、「議決漏れの再発防止策の策定に関して」を4つの論点にわけて「議員間討議」を行いました。

各委員それぞれ意見を出し合い、白熱した討議が行われました。討議した内容から、論点ごとに方向性を取りまとめ、議会運営委員会への申し送り事項として提出しました。

「議員間討議」とは

評決の前に議案に対して、適切な説明責任、議決責任を果たすために、議員同士で自由に討議を行うことです。



陳情審査に関して

本陳情については、陳情者からの願意説明の申し出があり、5月24日に開催した産業建設委員会にて、陳情者を参考人招致することを決定しました。

6月10日の陳情審査では、意見陳述として陳情の趣旨を参考人から聴いた後、委員から参考人への質疑を行いました。

## 陳情の審査結果

令和4年 陳情第3号

『水田活用の直接支払交付金の見直しを中止し、交付金支払いを継続するよう意見書を提出願いたい』

結果

不採択

慎重に審査を行い、不採択とすることに決定いたしました。

# リニア推進 特別委員会

6月14日に  
委員会等を開催



委員会の様子は  
YouTubeを  
ご覧ください

## リニア駅周辺整備オンライン報告会に ついて

飯田市は、リニア駅周辺整備事業に関して、令和元年度に策定した「デザインノート」をふまえ、令和2年度から土木の実施設設計とプロジェクトによる検討を進めてきました。

その基本的な部分としての、デザインガイドラインとリニア駅からの二次交通のあり方について、5月28日に市民に向けてオンライン報告会を開催した旨の報告がありました。



**Q** 市民との意見交換を行う場として、以前説明があった出前講座のほかに、飯田市が主催する説明会の開催について、具体的な展開を考えているか。

**A** 出向いて行って市民との間で行う意見交換の場を創出すべく、まちづくり委員会や学校に案内を行っている。できるだけ多くの多様な意見を伺いたいと考えており、自治振興センター、公民館などを通じてさまざまな団体への案内と周知に努めている。

**Q** 報告会の動画配信について、再生回数とそれに対する評価、出前講座の希望の有無は。

**A** 直近の6月13日現在で、動画の再生回数は1,517回。デザインガイドラインの説明の部分は179回、リニア駅からの二次交通のあり方の説明の部分は215回となっている。出前講座など、今後もさまざまな意見を聴く機会を設けてまいりたい。

## 令和3年度二次交通の在り方調査業務に ついて

執行機関から、移動実態・拠点の把握、リニア開通に伴う移動需要と課題、交通モード等の整理をふまえて、リニア駅とJR飯田線との接続についての望ましい接続についての考察を行ったこと。また、経済性、所要時間、利便性、地域への波及効果の項目で乗換新駅設置と既存駅接続との比較検討を行った結果、既存駅との接続のほうが優位と判断したとの説明がありました。

**Q** 乗換新駅設置と既存駅接続を比較し、後者が優位と判断した理由は。

**A** JR飯田駅に期待する機能として、「地域の住民の足」に次ぐものとして「観光資源としての活用」が求められており、リニア開通後も既存駅を活用しながら、JR飯田線そのものを観光資源として活用してまいりたい。



## リニア関連事業に関する住民説明会に ついて

JR東海が、3月8日に座光寺地区で、翌日に北条地区で、長野県駅（仮称）工区及び風越山トンネル上郷工区の現在の状況について説明会を開催した旨の報告がありました。

**Q** 今後予定されている国道拡幅の工事用車両の影響を見据え、周辺市道へ迂回する車の増加等、懸念される事項への本格的な検討は。

**A** JR東海の本線工事と国道工事のほか、今後、市の駅周辺整備工事も重なるため、朝晩の通勤通学時間帯への配慮をしながら、できる限りの安全対策をJR東海、県及び市の3者協働で情報共有し、調整を行いたい。

## 喬木村議会の総務産業建設常任委員会と 懇談会を実施

4月25日に、喬木村議会の総務産業建設常任委員会と懇談し、現時点におけるリニア駅周辺整備計画と、この計画に伴い一帯として飯田市と喬木村が担う役割等について協議しました。

「飯田・リニア駅前空間デザインノート」を基に、今後も広域的な視点でリニア駅周辺整備を進めることを確認しました。



## 議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



### ～大切だに！運動の継続～

いちのせよしあき  
市瀬 芳明

今までいくつかのスポーツをしてきましたが、今でもイダッシュAC(陸上クラブ)で指導者兼競技者？として活動を継続しています。

イダッシュACは地域のジュニアスポーツクラブとして小中(高)約40人の子どもたちが週に2～3回活動しています。全市型競技別スポーツスクールにも登録し、中学生期の適正なスポーツ活動のあり方について考えていく取組みも進めています。

練習は主に短距離や幅跳びなどの跳躍種目を指導します。基本動作の習得、体幹の強化、短ダッシュを中心としたメニューで、最大スピードの向上を目指します。

クラブはいつでも参加可能。これからも生涯スポーツとして続けていけたらと思っています。



### ～定時制・通信制の生徒応援活動～

つついせいいつ  
筒井 誠逸

平成22年、飯田長姫高校(当時)の但馬校長先生の要請で定時制通信制教育振興会の会長をお受けしました。高校統廃合を経て、現在も飯田OIDE長姫高校定時制振興会長を務めています。

持続の原動力は「生徒生活体験発表」です。

定時制・通信制には、不登校だったり、生まれが外国だったりなど、様々な環境の生徒が通っていますが、自身の赤裸々な体験や学校生活を通じた成長の様子を弁論大会のように発表するこの場に私は毎年出席しています。

生徒のひたむきな姿は涙なくしては聞けません。ぜひ皆様も参加してください。

自分の体力が続く限りは、定時制・通信制の生徒の応援団として学校外から支援する決意です。

## 議会の動き(予定)

### ■第3回定例会

開会8月30日(火)～閉会9月21日(水)

#### ◇一般質問 (傍聴可能)

9月13日(火)～14日(水)

#### ◇委員会日程 (傍聴可能)

予算決算委員会前期全体会	8月30日(火)
総務委員会	9月5日(月)・6日(火)
社会文教委員会	9月6日(火)・7日(水)
産業建設委員会	9月7日(水)・8日(木)
リニア推進特別委員会	9月12日(月)
予算決算委員会後期全体会	9月20日(火)

### ■議会への請願・陳情は、議会事務局へ

8月16日(火)午後5時までにご提出ください。

## 議会傍聴に際してのお願い

議場や委員会室に入る場合は、帽子、外とう、襟巻、つえ、傘の類を着用し、又は携帯してはならないことになっています。(病気その他の理由により議長の許可を得たときは例外となりますので係員にお申し出ください。)

ご理解とご協力をお願いいたします。

## 広報広聴委員会

委員長/福澤 克憲	副委員長/清水 勇
委員/下平恒男	橋爪重人 関島百合
筒井誠逸	小林真一 佐々木博子

表紙  
紹介

## がんばっとるに 松尾

毎年恒例となりました「出張科学教室」が、6月8日に松尾小学校で行われ、6年生の児童約140人が、青少年健全育成会や松尾サイエンス、おもしろ科学工房のみなさんのサポートのもと、カレンダーなどの身近な物と本格的な火薬エンジンを使って手作りしたモデルロケットを打ち上げました。

完成したロケットが校庭に設置した発射台から一斉に打ち上げられると、歓声に包まれました。児童からは「飛ばなかったらどうしようって心配だった」、「すごく高く飛んでうれしかった」などの声がありました。

地域の大人も子どもも一緒になって科学を楽しみながらつながりができる、大変貴重な機会となっています。

